

〔引用文献〕

- [1] アジア経済研究所『韓国の企業』外国の企業4, アジア経済研究所, 1967年。
- [2] 伊東和久『『政策金融』と『金融政策』——韓国の事例研究——』（『アジア経済』第22巻第9号, 1981年9月, 35～53ページ）。
- [3] 今岡日出紀・大野幸一「韓国・台湾の工業発展」（今岡日出紀・大野幸一・横山久編『中進国の経済発展』研究双書337, アジア経済研究所, 1985年, 11～56ページ）。
- [4] 植木三郎編『韓国の金融事情』アジア経済調査研究双書163, アジア経済研究所, 1969年。
- [5] 小此木政夫「北朝鮮における対ソ自主性の萌芽 1953～1955——教条主義批判と『主体』概念——」（『アジア経済』第13巻第7号, 1972年7月, 38～54ページ）。
- [6] 梶村秀樹「朝鮮」（『アジア経済』100号記念特集[日本におけるアジア・アフリカ・ラテンアメリカ研究]第10巻第6・7号, 1969年7月, 83～95ページ）。
- [7] 梶村秀樹「朝鮮——近代史——」（『アジア経済』200号記念特集[70年代日本における発展途上地域研究——地域編——]第19巻第1・2号, 1978年2月, 18～26ページ）。
- [8] 金昌男・梶原弘和「圧縮型農業発展の考察——韓国農業の展開過程——」（『アジア経済』第24巻第9号, 1983年9月, 2～21ページ）。
- [9] 神宮滋「戦後経済と農業」（『アジア経済』第8巻第7号, 1967年7月, 4～16ページ）。
- [10] 神宮滋「韓国の農業労働に関する一考察」（『アジア経済』第9巻第7号, 1968年7月, 27～38ページ）。
- [11] 倉持和雄「韓国における農村・農家人口の流出——60・70年代におけるその特徴と結果——」（『アジア経済』第24巻第5号, 1983年5月, 2～21ページ）。
- [12] 倉持和雄「70年代韓国における農業労働構造の変動」（『アジア経済』第25巻第1号, 1984年1月, 20～51ページ）。
- [13] 九州経済調査協議会編『韓国の工業』アジア経済調査研究双書146, アジア経済研究所, 1967年。
- [14] 小牧輝夫「北朝鮮経済の実像——工業部門を中心に——」（『アジアトレンド』第26号, 1984年春, 70～80ページ）。
- [15] 小牧輝夫「朝鮮民主主義人民共和国」（『アジア経済』300号記念特集[日本に

- における発展途上地域研究1978～85]第27巻第9・10号, 1986年10月, 142～145ページ)。
- [16] 小牧輝夫編『朝鮮半島——開放化する東アジアと南北対話——』調査研究レポート9, アジア経済研究所, 1986年。
- [17] 桜井浩「わが国社会主義建設での千里馬作業班運動」(『アジア経済』第5巻第4号, 1964年4月, 57～61ページ)。
- [18] 桜井浩「北朝鮮の灌漑建設」(『アジア経済』第5巻第11号, 1964年11月, 51～59ページ)。
- [19] 桜井浩「北朝鮮農業の機械化について」(『アジア経済』第6巻第11号, 1965年11月, 64～75ページ)。
- [20] 桜井浩「軍政および過渡政府下における穀物供出制について」(『アジア経済』第8巻第7号, 1967年7月, 50～62ページ)。
- [21] 桜井浩「韓国の第2次経済開発5カ年計画下の農業」(『アジア経済』第8巻第7号, 1967年7月, 102～105ページ)。
- [22] 桜井浩「セマウル運動と韓国の農村」(『アジア経済』第16巻第2号, 1975年2月, 24～36ページ)。
- [23] 桜井浩『韓国農地改革の再検討』研究参考資料248, アジア経済研究所, 1976年。
- [24] 桜井浩「大韓民国」(『アジア経済』200号記念特集[70年代日本における発展途上地域研究——地域編——]第19巻第1・2号, 1978年2月, 1～10ページ)。
- [25] 桜井浩「韓国稲作生産力の新段階とその構造——1970年代の新品種普及を中心に——」(『アジア経済』第20巻第8号, 1979年8月, 20～42ページ)。
- [26] 桜井浩「朝鮮戦争の起源に関する一考察——朝鮮民主主義人民共和国政府の諸文書・演説等の分析——」(『アジア経済』第25巻第6号, 1984年6月, 119～131ページ)。
- [27] 桜井浩「1950年における朝鮮民主主義人民共和国による韓国地域での土地改革」(『アジア経済』第29巻第1号, 1988年1月, 2～16ページ)。
- [28] 桜井浩編『開放と革命——朝鮮民主主義人民共和国の成立過程——』研究双書390, アジア経済研究所, 1990年。
- [29] 桜井浩・服部民夫「大韓民国」(『アジア経済』300号記念特集[日本における発展途上地域研究1978～85]第27巻第9・10号, 1986年10月, 134～141ページ)。
- [30] 笹本武治「植民地統治下における朝鮮農業の展開——その構造的奇形化を中心として——」(『アジア経済』第9巻第7号, 1968年7月, 4～13ページ)。
- [31] 佐藤幸人「『香港工業化モデル』の提唱」(小島麗逸編『香港の工業化——アジアの結節点——』アジア工業化シリーズ8, アジア経済研究所, 1989年,

- 117～132ページ)。
- [32] 佐藤信行「韓国洛東江上流の山村社会」(『アジア経済』第16巻第3号, 1975年3月, 78～88ページ)。
- [33] 鈴木長年編『アジアの経済発展と輸出指向工業化』アジア経済調査研究双書223, アジア経済研究所, 1974年。
- [34] 高瀬浄「社会主義朝鮮経済の論理と現実」(『アジア経済』第13巻第8号, 1972年8月, 2～19ページ)。
- [35] 高瀬浄「朝鮮民主主義人民共和国における“所有問題”」(『アジア経済』第16巻第5号, 1975年5月, 38～56ページ)。
- [36] 滝沢秀樹「工業化時代の国民意識——70年代の経済ナショナリズムと経済倫理——」(服部民夫編『韓国の工業化——発展の構図——』アジア工業化シリーズ2, アジア経済研究所, 1987年, 105～121ページ)。
- [37] 谷浦孝雄「韓国の工業生産」(『アジア経済』第7巻第1号, 1966年1月, 74～80ページ)。
- [38] 谷浦孝雄「韓国における農業協同組合の発展」(『アジア経済』第8巻第7号, 1967年7月, 32～49ページ)。
- [39] 谷浦孝雄「韓国の農地制度」(『アジア経済』第8巻第7号, 1967年7月, 97～101ページ)。
- [40] 谷浦孝雄「韓国の水利事業」(『アジア経済』第9巻第7号, 1968年7月, 14～26ページ)。
- [41] 谷浦孝雄「韓国の農村」(『アジア経済』第9巻第7号, 1968年7月, 87～93ページ)。
- [42] 谷浦孝雄「韓国の工業化における資本動員と企業経営」(山田三郎編『韓国工業化の課題』アジア経済調査研究双書193, アジア経済研究所, 1971年, 221～259ページ)。
- [43] 谷浦孝雄「韓国の工業化と私金融問題」(『アジア経済』第15巻第3号, 1974年3月, 61～70ページ)。
- [44] 谷浦孝雄「金日成思想の一考察」(『アジア経済』第16巻第2号, 1975年2月, 51～59ページ)。
- [45] 谷浦孝雄「韓国における企業成長——三星グループを中心に——」(隅谷三喜男編『韓国の企業経営』アジア経済調査研究双書240, アジア経済研究所, 1977年, 253～252ページ)。
- [46] 谷浦孝雄「朝鮮民主主義人民共和国」(『アジア経済』200号記念特集[70年代日本における発展途上地域研究——地域編——] 第19巻第1・2号, 1978年2月, 11～17ページ)。
- [47] 谷浦孝雄「韓国における農村政策の展開——1970年代のセマウル運動を中心に——」(『アジア経済』第21巻第10号, 1980年10月, 4～21ページ)。

- [48] 谷浦孝雄「韓国」(伊藤正二編『公開講座 発展途上国の財閥』アジアを見る眼63, アジア経済研究所, 1983年, 1~44ページ)。
- [49] 谷浦孝雄『韓国の工業化と開発体制』研究双書382, アジア経済研究所, 1989年。
- [50] 谷浦孝雄「韓国——技術立国への挑戦——」(谷浦孝雄編『アジアの工業化と技術移転』アジア工業化シリーズ10, アジア経済研究所, 1990年, 92~125ページ)。
- [51] 田村紀之「アジア工業化の現段階」(谷浦孝雄編『アジア工業化の軌跡』アジア工業化シリーズ13, アジア経済研究所, 1991年, 1~49ページ)。
- [52] 蔦川正義「韓国工業化の特質——1966年鉱工業センサスを中心に——」(『アジア経済』第9巻第5号, 1968年5月, 70~85ページ)。
- [53] 中川信夫「韓国工業化をめぐる諸問題」(『アジア経済』第4巻第5号, 1963年5月, 15~23ページ)。
- [54] 中川信夫「韓国農業における構造上の諸問題」(『アジア経済』第4巻第7号, 1963年7月, 15~22ページ)。
- [55] 中川信夫『韓国の経済構造と産業発展』研究参考資料72, アジア経済研究所, 1964年。
- [56] 中川信夫「韓国の財政安定計画」(『アジア経済』第6巻第2号, 1965年2月, 51~58ページ)。
- [57] 中川信夫「韓国の財閥についての一考察」(『アジア経済』第6巻第10号, 1965年10月, 41~48ページ)。
- [58] 野副伸一「韓国の開発戦略をめぐる——『内包的工業化』論批判——」(『アジアトレンド』第18号, 1982年春, 59~76ページ)。
- [59] 野副伸一「韓国における経済開発と民主化」(『アジアトレンド』第52号, 1990年冬, 68~78ページ)。
- [60] 服部民夫「日本・朝鮮における同族概念の比較試論」(『アジア経済』第16巻第2号, 1975年2月, 60~72ページ)。
- [61] 服部民夫「現代韓国企業の所有と経営——『財閥』系企業を中心として——」(『アジア経済』第25巻第5・6号, 1984年6月, 132~150ページ)。
- [62] 服部民夫「高度成長期における産業エリートの形成——韓国の事例: 1962~78——」(伊藤禎一編『発展途上国のビジネス・リーダーシップ』研究双書322, アジア経済研究所, 1984年, 157~186ページ)。
- [63] 服部民夫「政治と人間ネットワーク」(小牧輝夫編『朝鮮半島——開放化する東アジアと南北対話——』調査研究レポート9, アジア経済研究所, 1986年, 58~79ページ)。
- [64] 服部民夫「財閥とその経営者たち」(服部民夫編『韓国の工業化——発展の構図——』アジア工業化シリーズ2, アジア経済研究所, 1987年, 151~168ページ)。

- [65] 服部民夫「韓国工業化の今後」(服部民夫編『韓国の工業化——発展の構図——』アジア工業化シリーズ2, アジア経済研究所, 1987年, 272~296ページ)。
- [66] 花房征夫「韓国綿企業の輸出進出過程と企業経営」(隅谷三喜男編『韓国の企業経営』アジア経済調査研究双書240, アジア経済研究所, 1977年, 205~252ページ)。
- [67] 福田力「農業経営と農家経済の動向」(『アジア経済』第8巻第7号, 1967年7月, 63~77ページ)。
- [68] 福田力「農産物需給に関する統計的分析」(『アジア経済』第9巻第7号, 1968年7月, 39~53ページ)。
- [69] 水野順子「工業化と女性の役割」(森健・水野順子編『開発政策と女子労働』経済協力シリーズ120, アジア経済研究所, 1985年, 177~207ページ)。
- [70] 水野順子「韓国における技能者養成政策の変容」(『アジア経済』第29巻第1号, 1988年1月, 55~72ページ)。
- [71] 水野順子「韓国工作機械企業における技術移転と技能形成——X社の事例——」(尾高煌之助編『アジアの熟練——開発と人材育成——』経済協力シリーズ143, アジア経済研究所, 1989年, 149~190ページ)。
- [72] 水野順子「韓国工作機械工業の発展要因」(『アジア経済』第31巻第4号, 1990年4月, 20~40ページ)。
- [73] 宮崎徹「韓国の財政・金融事情」(木村元一編『アジア諸国の財政金融事情』研究参考資料148, アジア経済研究所, 1969年, 17~56ページ)。
- [74] 本橋渥「朝鮮社会主義経済の理論と政策——計画化と農業問題をを中心に——」(『アジア経済』第15巻第3号, 1974年3月, 21~35ページ)。
- [75] 柳原透「開発戦略としての『韓国モデル』」(『アジア経済』第20巻第10号, 1979年10月, 84~102ページ)。
- [76] 山田三郎編『韓国工業化の課題』アジア経済調査研究双書193, アジア経済研究所, 1971年。
- [77] 山本剛士「朴政権の経済政策と農業政策」(『アジア経済』第8巻第7号, 1967年7月, 17~32ページ)。
- [78] 李素玲「韓国の農村開発——『セマウル運動』と地方行政——」(『アジア経済』第25巻第8号, 1984年8月, 52~64ページ)。
- [79] 柳時中「韓国の産業化に伴う地域社会の変化と諸問題——亀尾地域を事例として——」(I)(II) (『アジア経済』第20巻第2号, 1979年2月, 27~41ページ; 第20巻第4号, 1979年4月, 27~47ページ)。
- [80] 渡辺利夫「韓国の工業化・人口移動・所得分配」(『アジア経済』第18巻第11号, 1977年11月, 2~24ページ)。
- [81] 渡辺利夫・梶原弘和「韓国農業の新展開——農業生産力の上昇と所得増大——」(『アジア経済』第21巻第3号, 1980年3月, 71~79ページ)

